

No. 1337

日本、初戦を飾れず

— ワールドユースサッカー —

1979年世界ユースサッカー選手権大会が8月25日世界各地の代表16カ国が参加して開幕しました。東京国立競技場では予選Aグループに出場した日本がスペインと対戦。日本は世界の一流プロサッカー選手を持つスペインに対して互角に試合を展開します。スペインは日本の手のうちがわかりはじめた前半20分すぎになると早い詰めとうまい球さばきで再三日本ゴールをおびやかします。日本も前半26分左コーナーキックからチャンスをつかみスペインゴールを攻めますがスペインの固い守りに拒まれ得点に到りません。後半に入ってようやく本来のペースを取りもどしたスペインはゆっくりした中盤のつながりからゴール前で鋭いパスを通すという攻撃で日本をゆさぶります。そしてスペインは後半17分、日本のBKの当りの弱かったところについてスニガが思いきりのよいミドルシュートを決めて待望の先取点。一点を追う立場になった日本はFW、BK一体となっを開始、スペイン陣内に果敢に攻め込み善戦観衆を沸かせます。しかしスペインのうまい試合はこびにはばまれ、得点出来た反撃ません。結局1対0で日本は初戦をおしくも落しました。

大空をめざして

— 愛知・新城 —

愛知県の新城市に住む夏目伸一さん(32)は色々な機械やちょっとした発明家として知られている。今夏目さんが取り組んでいるのは大空を飛ぶ動力付ハンググライダー。

ハンググライダーの仲間たちと集まっては新しいグライダーの開発に情熱をかたむけている。夜遅くまで研究が続く。部屋には小型のコンピューターやテレックスもそなえつけてあり、研究の成果を実際に結びつける大きな役割を果している。

さて、今日はいよいよ新しい日本で一台しかない動力付ハンググライダーの試乗会。パイロットは仲間のホームビルト・三河ハンググライダーズスクールの安藤蓮純さん(24)。三河湾から吹く風も良好。さあスタート。テローグック号は快調に大空へ舞いあがった。現在、動力付ハンググライダーは目新しく、単なるハンググライダーに動力(エンジン)が付いただけのようだが、夏目さんはいよいよ実用化できるようなものにしたいと大張り。

夏目さんを中心に仲間たちの夢は大空を飛翔する。